

【地域福祉館との連絡調整及び地域福祉館業務の支援】

- 福祉館イベントの内容協議、協力。
- 校区の行事や相談内容等について情報交換。
- 福祉館サロン運営支援（プログラム提案・講師紹介等）

【各種団体等の連携支援と小地域ネットワーク活動の活性化（助言・連絡調整等）】

- コミュニティ協議会等の事業に参加し、校区の地域活動の情報収集を行い、地域福祉活動支援につなげている。
- メンバーの高齢化でボランティアも後継者発掘が課題となっており、次世代との交流の場について提案を行った。
- 地域コミュニティ協議会のコミュニティプラン策定に協力し、地域活動の情報提供を行った。

【社会資源（地域の団体、施設、人材、活動等）情報の把握及び橋渡し】

- 町内会等の見守り活動の情報収集を行っている。
例：町内会の区単位で毎月、連絡会を開催し情報交換を実施している地域があり、町内会で取り組むことによって、民生委員との効果的な連携が取れている。
- 町内会から見守りについて相談を受け、地域にある老人クラブ等の高齢者が高齢者を見守ることの利点について、提案助言し進行中となった。
- 見守り活動について状況把握を行い、校区社協会長と見守り体制の方向性等について情報交換を行った。支え合いマップ研修会開催の検討助言を行った。
- 校区社協視察研修先・内容について、連絡調整し橋渡しを行った。
- 買い物に困難な状況にある地域に、移動店舗の情報を提供し、実施までの橋渡しを行った。他地区も関心を持たれ、数ヵ所へ情報提供し、実施地区が広がっている。
- 地域の困りごとに対して、ボランティアグループを結成し支援したいと相談を受け、活動が無理なく継続できるよう「生活支援支え手育成モデル事業」を情報提供し、地域のボランティア活動促進と男性会員の生きがいに繋がった。
- 校区社協の防災訓練実施時に、若い世代の参加もあり、今後の校区社協事業の担い手育成・事業への応援体制づくりについて提案を行った。（イベント開催等）

【ボランティアコーディネート（個人・団体の登録とその橋渡し）】

- 介護講習会等の講師について、講師紹介の依頼があり、提案・支援を行った。
- 地域の介護保険非対象の高齢者の方々へ「高齢者いきいきポイント推進事業」を紹介し、その後登録し施設訪問等活動に結びつきボランティア活動の活性化を図った。
- 高齢者クラブ等へ、講師紹介・学習資料の提供等を行った。

【団体や個人からの相談への対応】

- 母子家庭の貧困と子供への虐待不安について町内会より相談を受けた。
対応：保健センターへ連絡、複雑な家庭状況にあることから、他機関とも連携を図りながら取り組んでいくことになった。
- ごみ問題のある家について、民生委員・居宅介護支援事業所・長寿あんしん相談センター等と連携を図り、片付けを行うと共に、今後の生活支援について関係機関につないだ。
- 家族が突然介護することについて不安な心理状態になったと、地域住民から相談を受けた。市社協ケアマネに相談し連携を図った。